

1 年学年便り

蓄える

～夢に向かって輝くために～

No.3 令和3年5月28日

自然教室 IN 焼津

スローガン T (楽しく) K (協力) G (元気に) ～勇往邁進～

5月20日(木)・21日(金)の1泊2日で、焼津青少年の家で、自然教室を行いました。スローガンにあるように、楽しく、協力して、元気に過ごすことができました。自宅を離れて2日間、子ども達はどのような感想を話したのでしょうか。



カヌー体験にて

自然教室を終えて、生徒の感想を掲載します。

自分でもっと考えられるようにしたい (井出 満優美さん)

1日目は、地球環境史ミュージアムで自然について、これからの大切なことを学びました。カヌーの体験では、声を合わせて班のみんなで協力して漕ぐことができ、一番心に残っています。2日目は黒はんぺんづくりで、材料のことや作り方を知り、ここでも協力できました。この2日間で学んだ事や過ごせて、仲良くなれてよかったと思います。

これからもっとよくなるため、話をしっかりきいて、自分でもっと考えられるようにしたいです。

(裏面につづく)

今年よりも来年はさらによい自然教室にしたい （笠井 惺勇琉さん）

自分のめあては、スローガンを達成することだったのでそれができてよかったです。また、2回目のカヌー体験でも、グループのみんなと協力し、重さ約1 tのカヌーをゴールまで漕ぐことができたことが、今回の自然教室の印象に残っています。来年は、今年より自然教室よりもさらによい自然教室にしたいです。

みんなで協力！行ってよかった自然教室 （串田 友樹さん）

今回の自然教室は、初めてのことがいろいろありました。カヌーに乗ること、はんぺんを作ること、このメンバーで2日間ずっと過ごすことも初めてでした。その中で一番心に残っていることは、班のみんなでカヌーに乗ったことです。最初、乗るのは少し怖かったけれど、班長（声出し係）を中心にみんなで声を出してカヌーを漕いで進んで行くのがとても嬉しかったです。他にもみんなで協力する場面がたくさんあり、自然教室に行ってよかったです。普段の生活でも、協力の輪をもっと広げたいです。

協力したから楽しさを感じることができた （鈴木 渚さん）

この2日間で学んだこともたくさんあり、班で行うことでより絆が深まったと思うし楽しめました。とくにカヌーや黒はんぺん作りで、一人ひとりが自分の役割をしっかりと行っていたし、協力したから楽しさが感じられよかったと思いました。これからも学んだことをしっかりと生かせるようにしたいです。

協力、思いやり、助け合いの大事さを学べた（渡邊 心暖さん）

中学生になって初めての宿泊をともなった自然教室では、班長が点呼を忘れたら「点呼だよ」と声をかけたり、他の人が係の仕事を忘れていたら声をかけたりとみんなで「協力」「思いやり」「助け合い」が全体的にできていて、そのことがとても大事であることを学べたので、これからも忘れずに生活していきたいです。

冷静な判断力をもっとつけたい （藁科 瑛太さん）

僕は、実行委員、室長、レクリエーション係としてその役割をしっかりと取り組めたのがよかったと思います。みんなをまとめる役割が多かったのですが、しっかりとまとめることができました。しかし、大事なときにみんなの雰囲気にもまれてしまい（友達といっしょに話をしてしまい）、冷静な判断ができなかったので改善していきたいです。これからも、学級委員としてみんなをまとめていきたいです。



キャンドル・ファイヤー



スタンツ 劇&ダンス



黒はんぺん作り